令和６年度　学校経営計画・自己評価書

足立区立寺地小学校

校長　松下　由紀子

１　学校教育目標

・進んで考える子ども　・責任をもって働く子ども　・健康で明るい子ども　・礼儀正しい子ども

２　めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○人、物、価値との出会いを通して児童の夢や意欲を育む学校 ○安全安心に学べる環境のもと、児童が笑顔で帰宅し、明日の授業を楽しみにする学校 ○常に情報発信し、家庭・地域の信頼を得て、連携した教育活動に取り組める学校
○児童・生徒像	○学習規律が定着し、意欲的に学習する児童 ○よりよい集団を目指し、積極的に行動する児童 ○体力向上に努め、笑顔で生活する児童 ○道徳的判断力を身につけすすんで実践する児童
○教師像	○自らが模範であることを意識して、情熱と向上心をもって教育に取り組む教師 ○児童と向き合い、寄り添いと励ましをもって成長を見守る教師 ○社会人、公務員として責任をもって職務遂行する教師

３　学校の現状及び前年度の成果と課題

◎学校の現状

各学年２学級、児童数３３９人である。明朗で素直な児童が多い。平成２３年度より取り組みを始めている３名人指導（挨拶名人、靴揃え名人、廊下歩き名人）を生活指導の柱としており、学校生活の中で上級生が下級生を指導したり、模範を示したりすることが全児童への徹底に繋がっている。教員は、校内での種々の研修はもとより、足立区教育研究会の研修や、小中連携教育を軸に指導力向上に努めている。

○前年度の成果

・国語の読解力向上を目指して、朝学習や補習に取り組んできたことが少しずつ成果として表れている。

社会力育成を目指して、外部との協力・交流授業を多数実施したことで社会の良識やマナーを意識実践する児童が増えている。

○今後の課題

・算数における基礎的内容の着実な理解と ICT 機器を有効利用した学習を全学年で共通実践することが課題である。

４　重点的な取組事項

	内　　容	実施期間（年度）　R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	社会力の育成	○	○	○	○	○
3	健康な児童の育成	○	○	○	○	○

５　令和６年度の重点目標

重点的な取組事項－１	学力向上アクションプラン

Ａ　今年度の成果目標	達成基準 （目標通過率）	実施結果 （通過率結果）	コメント・課題	達成度 ◎○△●
学力向上	区学力調査通過率で国語算数共に８０％以上 ワークテスト正解率全学級８０％以上			

Ｂ 目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 （誰が、何を、どのように）	達成確認 方法	達成目標 （＝数値） （いつ・何を・どの程度）	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	放課後学習 ＡＩドリル	国語 算数	放課後 学習 年 20 回	【指導者】全教員 【目的】基礎基本の定着 【教材】 （前半）読解プリント （後半）AI ドリル	全校一斉の放課後学習時間の設定	300 分以上の取組			
2 継続	朝学習	国語 算数	毎週 火水金 始 業 前 10 分	【指導者】担任 【目的】基礎学力の定着 記述力の向上 【教材】α ドリル	ドリルの確認	全ページ実施			
3 継続	家庭学習の充実	全児童	年３回 6月10月 1 月	家庭学習強化月間とし、保護者に呼びかけ、宿題の提出率を確認する	宿題提出状況調査	90％以上の提出率			
4 継続	校内研究	全学年 算数	通年	・小中連携ともリンクさせた研究授業 ・教科担任制	授業観察 教科指導専門員指導	全学年研究授業			
5 継続	学校図書館の利用	全児童	通年	・読み聞かせ ・読書週間の推進活動 （実施方法等検討中）	貸出数	基本計画目標達成			

重点的な取組事項－２	社会力の育成

Ａ　今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
社会力の育成	生活意識調査による「自己肯定感」「言葉遣い」「人間関係」の総合満足度を前年度より増加させる。			

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
3 名人指導 挨拶名人 廊下歩き名人 靴そろえ名人	全学年 90%以上の達成 個々の目標とは別に学級目標等検討中	3 つの名人の実践を定期的に奨励し、年 2 回状況調査をする。			
自己肯定感 社会貢献意欲の育成	意識調査 自己肯定感 70% 言葉遣い 90% 人間関係 90% 以上	学校行事 異学年交流 （R5 年度を上回る回数） クラブ、委員会活動			
外部との交流 出前授業の有効活用	各学年年間４回以上の実践	幼保小交流 高齢者施設交流 企業や教育関連団体の出前授業			

重点的な取組事項－３	健康な児童の育成

Ａ　今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心身の健康指導の充実	児童意識調査及び保護者学校評価の関連項目達成と９０％以上			

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力の向上	体力テストの全種目で都の平均を上回る	体育集会 投力向上授業（5、6年） なわとび週間 持久走週間 「命」の学習を学校全体の年間テーマとして取り組む。 ・人権プログラムや安全教育プログラムを参考に、毎月１回「命」にかかわる具体的テーマ（いじめ、自殺予防、交通安全、災害対策等）を設定し全学級で授業を実施する。			
健康指導の充実	意識調査による「健康」項目の満足度９２％以上				
安心できる環境	意識調査による「安心」項目の満足度９２％以上				